SAIN

健康な
住まいと
暮らしの
サイン

THANK YOU!

51

ANNIVERSARY EDITION Vol.2

SAiN 51

ANNIVERSARY EDITION Vol.2

みなさまに感謝いたします

二〇〇四年の六月に第一号を発行した
カイケンコーポレーションのフリーペーパー
『サイン』は、二〇一六年の秋号で五〇号を迎えました。
これまでの感謝とこれからへの新しい想いを込めて、
先号の五〇号から四号一年間にわたって、
アニバーサリー特別編集版をお届けいたしております。
今号は、特別編集版の第二号目。
カイケンコーポレーションの代表的ブランドである
「幻の漆喰シリーズ」のこと、
住まわれてから歳月の経ったお住まいのこと、
そして、お施主様による特別寄稿エッセイなど、
もりだくさんの内容となっております。
どうぞ、特別な『サイン』をお楽しみください。

SAiN 51号 目次

●P02…いまお伝えしたいこと【特別編】代表 浦上直メッセージ
●P03…「無添加」というだけでは「健康住宅」と言えない？
●P05…カイケンブランド「幻の漆喰」シリーズ
●P07…【施主様からの特別寄稿】渋谷様体験談
●P09…空気がうまい家 人と暮らしを訪ねて【特別編】花増様体験談
●P11…空気がうまい家 人と暮らしを訪ねて【母家】T様体験談
●P13…空気がうまい家 全国体感録
●P17…「変わらなければいけないもの 変えてはならないもの」
●P17…こだわりプレゼント

KAIKEN いまお伝えしたいこと 特別篇

続・たまにはゆっくりあるいてみよう

カイケンコーポレーションの健康住宅づくり
これまでの歩みとこれからの展望 【第二回】

五〇回の発刊の中で、これまでたくさんのコラムを綴らせていただきましたが、その中でも一番印象深く残っているのが、二〇〇六年三月に発刊した第八号に掲載した文章です。

以下がその時の原文です。

＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊

「たまにはゆっくりあるいてみよう」

私は昨年(二〇〇五年当時)の九月初旬から中旬にかけて、空海(弘法大師)の史跡で有名な「四国八十八か所巡り」の旅に行って参りました。動機は色々あるのですが、まずは序盤の一番札所～十八番札所までを歩き、自分自身を見つめ直す良い機会になったと思っております。

日頃は車、電車、飛行機などを利用しながら全国各地を訪問。過密なスケジュールを消化するために、全力を投じています。各地のお取引先の皆様と面会したり、セミナーや講演会、勉強会を行ったり、たくさんの仕事をこなすことで、ある意味そこで気持ちが満足してしまっていたのかもしれません。四国の道を歩くことで、自分自身の人間の小さい部分を新たに発見できたような気がいたします。

私が一日に歩ける距離はせいぜ二〇ｋｍ～二五ｋｍ。同じ距離を移動するのに、車を使えば三〇分弱、飛行機だとわずか数分です。それだけ人間一人が一日に歩ける距離は、乗り物に比べて圧倒的に短いことが分かります。しかし逆に速度がゆっくりな分だけ、周りを落ち着いて観察できるという新鮮さがあります。

普段忙しく働いていてはなかなか見えないもの。例えば、道端に育っている小さな草花が一生懸命に花を咲かせている風景。とても小さいアリが忙しそうに走り回っている様子。川のせせらぎや小鳥の鳴き声。自然の中に身を置き、自分自身と向き合うことで、今まで過ごしてきた五十三年間が走馬灯のように思い出されました。ただただ突っ走ってきた人生。お客様に助けられ、家族を犠牲にし、自分の自己満足だけの人生だったように思えました。事業に対しても私のやっている事がとても小さなことに感じ、千年以上も昔、道路も通信手段もない時代に大事業を成し遂げられた大師の偉大さを痛感いたしました。

大師は高野山の開山や四国八十八か所札所など、全国各地にそのゆかりの地が存在します。この現代においてさえも大師が残された事業によって得られた恩恵は大きく、多くの人々の生活が支えられているのです。あの時代にこのような大事業を成し遂げることが出来たのは、大師の心(哲学)の素晴らしさに周りの人々が理解と納得を示し、事業遂行に全面協力されたからに他なりません。

私も住宅の健康を願い、健康素材の生産と販売を行っているメーカーの経営者として、より一層自分を磨き、お取引の皆様方を始め、ユーザーの皆様のご理解を得て、一人でも多くの方々に安全で健康な生活を楽しんでいただけるよう、決意を新たにいたしました。

たまにはゆっくり歩いてみましょう。

＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊

この原稿を書いたのが、今から約十二年前のことです。その約三年後、五日間程時間を作り、二十九番札所(国分寺)から三十六番札所(青龍寺)までを回りました。まだ半分にも到達しておらず、気持ちははやるのですが、何分相変わらずの仕事状況。こんなことでは大師にお叱りを受けてしまうかもしれません。

十二月五日で六十五歳を迎えました。この十二年間に大きな手術を経験しました。事故にも遭いました。今満足に動けている現状、つくづく生かされていると実感します。

果たして過去と現在を比べて、私自身がどんな成長をしたのか、それとも停滞したままなのか、再度遍路さんになり、自然と一体になることで、今後の人生をもう一度見つめ直してみたいと心から思う次第です。

今だからこそ改めて思う…
たまにはゆっくり歩いてみよう。

【次回へ続きます】

カイケンコーポレーション株式会社
代表取締役社長　健康住宅アドバイザー　浦上　直

SAIN

「無添加」というだけでは「健康住宅」と言えない？

「無添加」という言葉を聞いて皆様はどのように感じられますか？「添加物が入っていないので体に良く健康になれる」と感じられる方がほとんどではないでしょうか。実際、添加物が多く使われているより、出来る限り入っていないほうが体に良いことは間違いないでしょう。しかし「無添加」という表示は、添加物が一つでも入っていなければ、無添加として商品が出せるという曖昧な定義のもとにあります。

例えば、合成着色料を使用していない商品であれば、防腐剤が入っていてもその商品は無添加商品といえるのです。食品はもちろん、石鹸やシャンプー、化粧品など私たちが口に入れるものから肌に直接ふれるものに「無添加」という言葉を目にしていることでしょう。その中で「全成分無添加」という商品、ましてや原料もすべて無添加という商品などは見ることは少ないと思います。いえ、ほとんどないでしょう。では、全ての原料・成分が無添加であれば安全なのでしょうか？

また、私たちが日々住まう家を考えたときはどうでしょうか。やはりすべて無添加とは言えません。住宅の内部を可能な限り木や漆喰などの自然な材料で作ったとしても、お風呂、キッチン、トイレ、サッシ、換気扇、照明などの設備機器は化学建材になるでしょうし、木の表面は何か塗っているのではないか、また塗っている場合、その塗料は安全なのか、使用されている接着剤・防蟻剤は大丈夫なのかなど。さらに木の原産国はどこなのか？ 素材は天然そのままなのか？ 内壁の材料は？ などなどたくさんの疑問が生まれてくるでしょう。

また、全くの自然のものであっても、木を糊で固めた集成材であっても、海外から入ってきて薬品づけになっていても、表面に何か塗ってあっても、防腐剤や糊が使用されている珪藻土も、自然素材がひとつでも入っていれば、その商品は全て自然素材という枠の中にくくられてしまいます。家においては「自然素材」＝「無添加」というイメージも強いでしょうが、どちらにしても定義は曖昧なのです。

それでも出来る限り自然に近い無添加といえる家を建てたとして、安全で健康であるといえるのでしょうか。花粉症やアトピーなど、何かしらのアレルギーを持つ人口は3分の1以上ともいわれ、シックハウス症候群や化学物質過敏症も増えている現在は、食べ物や水、日用品だけでなく、家づくりにおいても家族や自分の体のために健康を考えている方が多くなっています。

ビニールクロスが主流だった壁も、和紙や漆喰・珪藻土などの呼吸する素材が増え、合板使用の新建材から天然無垢材の床が増え、化学建材から発生するガスをなくそうと無添加で健康的な素材が選ばれるようになりました。しかし、本当の健康住宅かどうかの判断も難しいし、無添加なだけでは健康な家とは言い切れないのです。

生活をしていく上で必要なもの、家具・家電・衣類などの生活必需品なくしては、ほとんどの方が不便と思われることでしょう。では、家具・家電・衣類などの生活必需品から化学物質のガスが放散していることはご存知でしょうか？ それらを無添加の家にいれてしまうとどうなるか…。もう答えはお分かりですね！ そうです、無添加の家は放散されたガスを吸収してしまい、今までと同じ不健康な家になってしまうのです。

例えば、収納スペースを例にみても・・・

呼吸しない壁

では、どうすれば本当に健康な住宅をつくることができるのでしょうか？ そのためには、様々なものから放散されているガスを「吸着し分解する」必要があるのです。そうすることで本当の健康な住宅は生まれるのだと考えています。

幻の漆喰

当社では「本当の健康住宅」を真剣に考え、「幻の漆喰」「清活畳」「音響熟成木材」という健康自然建材を開発しました。この健康自然建材をバランスよく使用することで、呼吸をし、化学物質を分解し、さらには清々しい空気を作り、快適で安全な住宅を生み出すことができました。また「幻の漆喰」においては、ホルムアルデヒド分解速度や鳥インフルエンザウイルスを100万分の1に抑制するなどの結果も得ています。

これこそが、「引越した後も本当の健康住宅」なのです！

「空気がうまい家®」をつくるカイケンの健康自然建材

幻の漆喰® 幻の漆喰® ピュアケアウォール®

幻の漆喰「10の特徴」

①焼肉などの臭いは2時間程度でほとんど感じなくなる ②タバコの煙・臭いは吸いながら分解 ③ペット臭はほとんど感じない ④ペットのうぶ毛がほとんど浮遊しない ⑤手垢が付きにくい ⑥綿ぼこりが発生しにくい（テレビへのホコリの吸着が少ない） ⑦アトピーの反応が緩和される ⑧喘息・鼻炎の反応がない ⑨抗菌作用※大腸菌・黄色ぶどう球菌・サルモネラ・腸炎ビブリオ※日本食品分析センター ⑩鳥インフルエンザウイルス感染価が一〇〇万分の一に※鳥取大学伊藤教授と共同研究

天然の空気清浄器 幻の漆喰

有明海の赤貝や銀杏草（海藻）などを使った完全天然素材の壁材。光と熱に反応する独自の光熱触媒作用を持ち、半永久的に室内の化学物質や有害物質を吸着・分解して住空間の空気を清浄に保ちます。ホコリも減ってお掃除もラクに。

幻の漆喰を塗りやすくモダンにピュアケアウォール

鉱物を原料とした天然素材を使用し、光熱触媒の技術で生成。原型となる幻の漆喰と同じく、化学物質の分解力に優れ、さらに今後の左官職人不足にも対応できるよう、塗りやすく仕上げています。

幻の漆喰® そとかべ

光熱触媒作用で「経年美家」を実現

外壁専用の幻の漆喰「そとかべ」は、光熱触媒技術を利用して汚れやすい外壁材をクリーンに保ちます。耐水・耐熱・耐変色・耐緑色化および耐カビ試験により、強靭さや耐久性を証明。時と共に味わいを増す「経年美家」の住まいを実現します。

音響熟成® 木材

免疫力をアップする木「財」

南九州産の杉を、クラシック音楽を聴かせながらじっくりと常温で音響熟成したこだわりの木材です。木が本来持っている油分やエキスが残り、防菌・防カビなどの作用に加え、人間の免疫力をアップする働きがあるとされています。

音響熟成® 木材 うづくりの床

素足にやさしく心地いい床材

「うづくり」とは、木の年輪を浮き上がらせる加工法。自然な凹凸が足裏を心地良く刺激して血行を良くし、冷え症の方もご安心頂け、こどもたちの扁平足予防にも効果的です。また、凹凸が室内の光を拡散して目に優しく、眼精疲労を和らげます。

竹炭入り清活畳®

マイナスイオン効果で清々しく

6畳2間でドラム缶一本分の竹炭が入った「清活畳（せいかつだたみ）」。竹炭は化学物質を吸着する能力が備長炭よりも優れるとされています。い草の爽やかな香り・肌ざわりが、すがすがしい空間をつくります。

SAiN50号特別ページも開設！最新情報はウェブでどうぞ

本当の健康住宅、
健康自然建材を知りたい方、
シックハウスでお悩みの方、
住むほどに愛着がわく
自然素材の家づくりを
お考えの方、
ぜひご覧ください！

アクセスはこちらから
www.e-kaiken.com
カイケンコーポレーション 検索

KAIKEN BRAND

「幻の漆喰®」誕生から15年。その真価はそのままに、「そとかべ」「ピュアケアウォール®」へと進化しています。

化学物質を吸着・分解。半永久的に「空気がうまい家」をつくる「幻の漆喰」シリーズ。

二〇〇一年「幻の漆喰」誕生

「幻の漆喰」開発の背景には、社会問題として目立ちはじめた「シックハウス」の問題があります。当時、大阪府堺市の保育園で、園児約三十人と保育士さんがシックスクール症候群の健康被害を受けるなど、「家と健康被害の関係性」についての関心が高まっていました。

しかし、シックハウス対策として室内の空気を浄化し、化学物質を分解する建材にはどこのメーカーも目を向けておらず、気密性や断熱性能の向上を目指した内装材などが目立ち、ビニールクロスや新建材、集成材などの石油化学製品が増加し、室内の空気環境の汚染はますます深刻になっていきました。

カイケンコーポレーションでは、いち早く化学物質を分解する建材の研究・開発に力を注ぎ、試行錯誤の末に完成したのが、化学物質を「吸着して分解する」健康自然建材「幻の漆喰」でした。

適正価格のための直接販売

できるだけお客様の元へ適正な価格でお届けできるように、「幻の漆喰」は商社や問屋を通す従来のルート販売ではなく、各工務店様への直接販売方式をとりました。少しずつ採用してくださるところが増え、おかげさまで「幻の漆喰」は、音響熟成木材、清活畳とともに「空気がうまい家」をつくる健康自然建材として、全国の多くのお客様、工務店様にご支持いただいています。

室内の空気環境を守る「幻の漆喰」は、本当の意味での「安全で健康な家づくり」の大きな前進につながりました。

二〇一三年、外壁用の漆喰「幻の漆喰そとかべ」誕生

二〇一三年には、「幻の漆喰」と同じく、光熱触媒の作用をいかして汚れやすい外壁をクリーンに保つ、外壁用の漆喰「幻の漆喰そとかべ」が誕生しました。

外壁材は強い雨風や太陽熱などから家を守る防護力が要求されます。「幻の漆喰そとかべ」は、耐水・耐熱・耐変色・耐緑色化・耐カビなどの厳しい試験を行い、試行錯誤の末に完成しました。

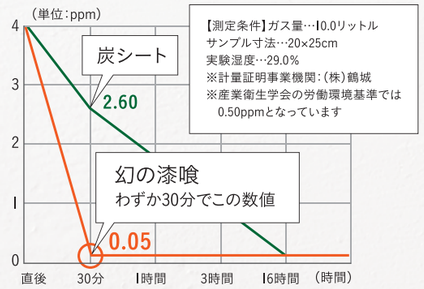
やわらかな素材感のある独特の質感は、懐かしさの上に新しさをまとった品の良さがあり、歳月とともに味わいを増していく「経年美家」を実現します。

KAIKEN QUALITY

ホルムアルデヒドなどの化学物質を素早く分解し、鳥インフルエンザウイルスを一〇〇万分の一に抑制

左のデータが示すように、化学物質を吸着・分解する「幻の漆喰」が持つ光熱触媒の効果は、「ホルムアルデヒド分解試験」などで実証済みです。アトピー性皮膚炎やアレルギーの原因のひとつともいわれるホルムアルデヒドが、わずか三〇分で驚くべき数値に減っています。さらに、鳥インフルエンザウイルスは、一〇〇万分の一に抑制する実験結果もあります。また、「室内空気汚染物質放散速度測定」や「抗菌力試験」などでも、「幻の漆喰」が持つ効果が実証されています。

ホルムアルデヒド分解試験データ



二〇一四年「幻の漆喰ピュアケアウォール」誕生

「幻の漆喰」の誕生から十五年、家づくりの在り方は大きく変化してきており、大工職人、とくに左官職人は年々減ってきています。いくら良い素材があっても、その力を活かしてくれる人がいなければ、何の役にも立ちません。

カイケンコーポレーションでは、今後の左官職人不足にも対応できるよう、「塗りやすい漆喰」の研究・開発をすすめ、二〇一四年に「幻の漆喰ピュアケアウォール」の開発に成功しました。

「幻の漆喰ピュアケアウォール」は、鉱物を原料とした天然素材を使用し、光熱触媒の技術で生成。化学物質を吸着・分解する「幻の漆喰クオリティ」はそのままに、塗りやすく仕上げています。

本物の健康自然建材を使う「本来の家づくり」を「未来の家づくり」に。カイケンコーポレーションでは、これからも真摯なものづくりに努めてまいります。

Made for Quality of Life. 健やかで味わいのある暮らしをつくる「幻の漆喰」シリーズ

◉施主様からの特別寄稿

私の空気がうまい家暮らし

文◉渋谷浩一郎 様

サイン五〇号の記念として、
京都府宇治市で「空気がうまい家」にお住まいの
渋谷様から文章をお寄せいただきました。
どうして、空気がうまい家を選ばれたのか。
実際にお暮らしになって、どんな変化があったのか。
そして、これからの住まいと暮らしの夢は・・・。
今号から全三回にわたってお届けしてまいります。

渋谷様が「緊急避難」された賃貸のお部屋。

渋谷様ご一家は、ご主人、奥様、紬(つむぎ)君、綴(つづり)君の４人家族。京都府宇治市在住。

つづり君の症状には、家族の心も傷みました。

ふらっと立ち寄った書店で目に留まった本の表紙を見ると、開放的なリビングで楽しそうに団欒する家族。あまりにも素敵で、自宅なのか、カフェなのか…?目を疑う程でした。小さな頃から、マイホームを持ちたいと願ってきた思いが再燃した瞬間でした。

「いいなぁ、こんな素敵な家でちょっと優雅に暮らしてみたい。」

きっと、あなたも同じような感覚を味わったことがあると思います。

けれど、現実の住まいは小さなマンション。「こんな都会では、マンションであっても自分の持ち家がある事は幸せなことなんだ。」何度も自分に言い聞かせながら、無理矢理、憧れの家の事は忘れようとすることくらいしかできませんでした。唯一、私にできることと言えば、物を極力置かずに整理整頓も心がけ、少しでも広々とした雰囲気を出すくらいのことでした。けれど、狭いものは狭いのです。

もう一つの問題は、マンションには「地面がない」ということです。大きな畑とまでは言わなくても、土の感触を楽しみながら、子どもには成長して欲しいという願いがありました。小学校の教諭をしていましたから、自然に目をやり、地面を触りながら植物が育つ感覚を肌で感じながら育った子どもと、そうではない子ども…ここには、大きな差が生じてくることは肌で感じていたのです。小学生の段階でも違いは歴然でしたから、大人へと成長していく過程を想像すると、自分の息子には絶対に地面を触って欲しいという願いはあったのです。

だから、小さな家でもいいし、一戸建てが理想だけどなぁ…。そんな思いは尽きなかったのですが、京都市付近という地域は、とにかく地価が高い。それに、マンションのローンも残っているということは、私にできることはこんな理想を追うのはやめて、ただ、今の生活をこなしていくしかないと思っていたのです。

そんな我が家に、次男が誕生しました。ところが、次男は誕生とともに強烈なアトピーを発症。しかも、原因はマンションに漂う化学物質。中古マンションを購入するにあたり、クロスやフローリングを張り替えるといったリフォームをしたことが裏目に出たのです。次男は、マンションにいると痒がり、皮膚もただれてしまう程でした。「もう、ここでは暮らせない。」突然訪れた転機。急遽、化学物質の揮発が終わったと思われるボロボロの賃貸物件に引っ越し、無添加住宅・自然素材の家などを手掛ける工務店巡りがスタートしたのです。

中古マンションを購入し、リフォームを行ったばかりの家に住む家族に資金が残っているはずもありません。それでも、住む家が無いとなると必死です。安心して生活できる建材の家を何としても手に入れなくてはならない。週末は、ハウスメーカー・工務店を巡り、平日の夜は、建材の勉強に工務店の検索、問い合わせなどに時間を費やしたのです。

その工務店巡りの中で、(株)ハウス工房さんと出会ったのです。我が家にとって、初めて安心できそうな建材で、現実味のある価格を初めて提示してくれた工務店でした。建材については自分で学んでいたものの、ここで、新建材の問題点をさらに教わったのです。何より、家づくりにおいて、絶対に失敗できないことを十分に理解していただき、音響熟成木材や幻の漆喰が確かなのか、これまで施工されたお客様の家を案内していただき、次男の反応を見るというテストまで何度もご協力していただいたのです。テストの結果はもちろん大切ですが、何より、ご協力してくださった方々も、自信満々で迎えてくださったことが、建材の良さを象徴している気がしました。

この音響熟成木材と幻の漆喰の家に暮らしている方、そして(株)ハウス工房に関わる方々に不思議な共通点があったのです。それは、「自然を眺めることの大切さ」を知っておられたということ。木はしなり、油分があり、生きたものは変化していくことなど…。

住まいの大切さだけではなく、自然の一部である人として大切な視点に気付かされたような出会いとなったのです。息子たちには、土を触りながら育って欲しい…なんとなく思っていたことと、気付かされたことが繋がった瞬間でもあるのです。

◉次回へつづきます

See you next time!

●住まわれて年月の経ったお宅をご紹介する特別篇

何年も住んでみた空気がうまい家はいかがですか？

築12年

鹿児島県薩摩川内市 ● 新築から12年

花増様のお住まい

●施工 旭住宅(株)

◎お母様　◎奥様　◎ご主人

約12年ぶりの再会。記念すべきSAiNの第一号にご登場いただいた花増様。「花が増す」・・・初めてお聞きしたときに、美しいお名前だなと感動したのを思い出します。

ご主人が現在単身赴任中ということもあり、今はお母様と奥様の二人暮らし。お母様とは今回が初めてのご対面となりましたが、おしゃべりをしていて、安心できるというか、リラックスできるというか、そんな居心地の良さを感じました。花増様の暮らし、楽しいお話も聞けましたよ！

●現在の暮らしぶりは？

毎月の初めには必ずお宮参りに赴かれるお母様。ご家族の健康を願い、感謝の気持ちを込めてご参拝。ずっと継続して行っていらっしゃる毎月の決まりごとです。

普段は家庭菜園でお野菜などのお世話をしながら、植物の成長ぶりを日々眺めるのが楽しみということで「人と話をしたり、畑の草取りをしたり、感謝の気持ちで毎日を過ごしています」とにこやかに語ってくださいました。

玄関ホールに飾られている可愛らしい小物は奥様の作品。手づくりの小物って味わい深くて空間を優しい雰囲気に変えてくれますよね。

一つ一つの素材に気持ちを込めながら、楽しく作品づくりに励まれている様子が目に浮かびます。人柄に合った素敵なご趣味だと思います。

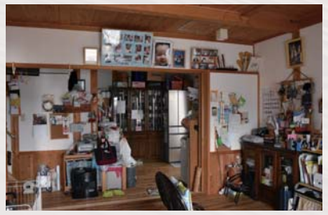
ゆっくり、ゆったり、心ゆたかに、まさにスローライフという言葉がピッタリだなぁと感じました♪

●お気に入りの点は？

「床が暖かいから、スリッパを履かなくていいですね！」とお二人とも同意見。「普通のフローリングは冷たくてスリッパを履かなきゃいけないけど、この床は暖かくて気持ちがいいです。床暖房もいりませんね」とご自身に相性の良い素材にご満足の様子のお母様。

木材も新築当時に比べ、あたたかくて優しい色合いへと変化しました。これまでの生活で蓄積された「家族のぬくもり」は、新築時では絶対に表現できません。家の雰囲気も含めたあたたかさが広がっている様な気がしました。

2016年1月の大雪の日の花増様邸



ご家族のみなさまのお写真がたくさん飾られていた花増様邸。「空気がうまい家」にお住まいのご家族は、ご家庭の空気もいいかんじになられることが多いような気がします。新築から12年の歳月を経て、音響熟成木材は深みのある飴色に変わり、木肌はつややかに。幻の漆喰は、新築時とほぼ変わらない白さを保っていました。

「帰ってきたらホッとする家」

今年の1月末に九州で大雪の日がありました。その日に撮影されたお家の写真は、奥様のお気に入りの一枚。

花増様のお家は二階から一階にかけて屋根が一体で繋がる「大屋根」と呼ばれる構造です。雪をかぶったお庭の木々とのバランスも良く、どこか雪国にひっそりと佇む雰囲気を醸し出しています。

総合的に調和がとれているからこそ、月日が経った分だけ常に新鮮で新しい表情を見せてくれます。これこそ詫び寂びの世界観ですね。

●当時はお子様の鼻炎についての取材でお伺いしましたが、その後何かエピソードはございますか？

「そういえば、うちの子たちは就職してからが初インフルなんです」と奥様。

高校生までこのお家で育ったお二人の息子様。周りではインフルエンザのことをよく耳にするのに、この家ではインフル知らず。就職して違う環境で生活を始められた途端、インフルエンザにかかってしまったのだとか。

「幻の漆喰®」の効果の一つに「鳥インフルエンザの感染価を100万分の1に抑える」という効果がありますが、なんだかその効果が実証されているようで、ビックリしつつも嬉しい気持ちがこみ上げました。

少し余談ですが、息子様一人ともご主人と同じ会社に勤務なさっています。奥様にお聞きすると「他にもあるよ～って勧めたけど、迷うことなく真っ直ぐ進んじゃいました。二人ともお父さんが大好きなんですよ～」とのこと。

小学生の時などに書く将来の夢。そこにもご主人がお勤めの会社名を書いてしまうくらい、夢に向かって一直線だったんですね(^_^)！ 本当に微笑ましい、気持ちが暖かくなるお話でした。

●皆様にメッセージをお願いします。

今回の取材の件を奥様よりお聞きになられたご主人からもコメントをいただきました。

「帰ってきたらホッとする家」

シンプルに全てを込めていただきました！ 実は単身赴任が数年単位で続くため、たまに帰郷なさるのですが、「築12年なのに俺はまだ6年しか住んでいない！」と少し冗談交じりかつ切実におっしゃられるのだとか(^_^)

「帰ってきたらホッとする家」深いです!!

「ただいま」お家がいちばん！

「木のあたたかみが良いよね～。長く大切にしたいです」と奥様。

10年以上経った今でも、初めて来た人は「わぁ～!!」と声を上げられるのだとか。「冬は暖房を消して外出していても、帰ってきたらなんとも言えないフワッとした暖かさだし、私もお父さんと同じく、ホッとする家だなぁ～と感じています」

お母様は「とにかく安心できる家です。床は暖かくて気持ちがいいし、間取りも工夫してもらって、優しいお嫁さんが傍に居てくれて、本当に感謝の言葉しかないです」と終始優しさに溢れた表情でお話してくださいました。

美しい花々はご家族の幸せが咲いたようでした

十二年の間にお子様は成人なさり、新しい家族も増え、思い出がたくさん生まれた花増様邸。これから先も深みを増しながら、皆様を見守っていってくれることでしょう。

奥様からも「今度は一〇〇号で主人も一緒に！」と嬉しいお言葉をいただきました。またお会いできる日を楽しみにしております。

本当にありがとうございました！

OMOYA 母家

おもやのよもやま話 シリーズ

「空気がうまい家暮らし」をご紹介しているカイケンコーポレーションウェブサイトの「母家」ページを、サイン誌上でもご紹介いたします。

富貴らんらんの暮らし

其一会　なんでもない日をおもてなす

服地の柄やパターンなどを手掛けるテキスタルデザイナーのT様は、首都圏の大学を卒業され、アパレルメーカーでの仕事を経た後、「身近に自然がある暮らしがしたい」ということで、生活の拠点を故郷の桐生に移されました。

二〇一四年一月、石原工房さんの施工により、ご自宅を新築。「日本の懐かしい風景に魅かれるんです」とおっしゃるT様は、富貴蘭をはじめ、骨董、アンティークなどに造詣が深く、独自の審美眼で日常を紡がれています。

T様のお住まいとその暮らしをお訪ねしたのは、梅雨入り前のある晴れた日のことでした。

古くから織物の産地として栄えてきた、群馬県の桐生。お訪ねしたT様邸は、桐生の街並を一望できる山の手の住宅地にありました。

T様は外壁が焼杉の家をお望みで、いろいろとお探しになられていたところ、石原工房さんのWEBサイトを発見。「音響熟成木材黒」や「幻の漆喰」を知り、さっそく相談されたとのこと。

打合せに持参されたたくさんの資料に丁寧に目を通す石原社長の姿や、T様のお好きなものに対する理解や共感などから、家づくりのパートナーとして石原工房さんをお選びになられたそうです。

●桐生の街並を見晴らす高台に建つT様邸。

●T様（写真右）と石原工房の石原代表。

群馬県桐生市 ● 新築

T様のお住まい

●施工（有）石原工房

お住まいは、「余分に使わない部屋ができるのがいやだったんです」とおっしゃるT様の考えが反映された、無駄のない潔さが素敵な空間。リビング・ダイニングは、桐生の街並を一望できるウッドデッキとつながり、落ち着いた風情と快い開放感が同居しています。

「いいにおいですねーって、みんな言いますよ」とT様がおっしゃる通り、音響熟成木材と幻の漆喰による「空気がうまい家」ならではの清々しい雰囲気が満ちていました。

骨董を愉しみ　草花を愛でる

学生の頃から「古いもの」「自然なもの」に魅かれてきたというT様。

庭の山野草を摘み、アンティークの小壜に生ける。そんな自然を住まいの中に取り込む暮らしのスタイルは、「こだわり」と言うより「好きだから」とのこと。

だからこそ、さり気なく肩肘をはらない「粋」が香り立つのかもしれません。

左の写真は、T様の骨董コレクションである江戸時代初期伊万里のそば猪口。

「底の厚い、ぽってりした感じが何とも良くて、日本酒などを飲むのにすごくいいんです」

ちなみに、そば猪口は底を見ると時代が分かるそうです。

「このそば猪口、中に虫が描いてあるんですよ。つゆを飲み干したら虫がいた！って、職人さんの遊び心ですよね。いいですよね（笑）」。

そば猪口に生けられた庭の山紫陽花。

「山紫陽花は、花が小さいところがいいですよね。〝和〟の雰囲気に良く合うでしょう？」

庭の野の花をお気に入りの器に生ける。それだけで、何でもない日のおもてなしです。

「古いものって、なんでこんなに可愛いんでしょうねえ」と目を細めるT様。

骨董の話、富貴蘭の話、庭づくりの話…。石原社長と一緒に、その話は尽きません。

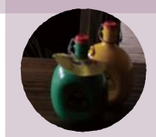
次回は、「富貴蘭」の話などを。

其一会へつづきます

暮らしのおたからもの

その愛らしいたたずまいと、手にしたときの思いがけない重量感にコレクターも多いという「あられ」コップは、大正時代のもの。

職人さんの手による竹細工のとんぼ。なんとも味のある作品です。



釣りに凝っていた頃は、古いアウトドアグッズも集めていたとのことで、このフランス製の水筒は、昔スポーツ店でよく見かけていたそうです。

☜WEB版「母家（おもや）」はこちらから

カイケン 母家

空気がうまい家 全国体感録

音響熟成木材・幻の漆喰・清活畳を使用した、家族にやさしい「空気がうまい家」。全国に広がるその魅力をご紹介します。

佐賀県

自然体のライフストーリーを紡ぐ家

T様のお住まい

シンプルな平屋に光と緑があふれるT様邸。25坪のちょうどいいお住まいのすみずみに、暮らしを楽しむT様ご家族ならではのスタイルがあります。サンルームやデッキなども設けられ、外と内が心地よくつながるお住まいです。

●玄関前のナチュラルなデコレーションが、楽しくお出迎え（写真上）。●エントランスデッキはスケルトンのカーポートと一体化し、雨の日も助かります（写真右）。

●音響熟成木材のいい香りが満ちる住空間。自然のぬくもりとT様ご家族のセンスが調和した、すてきなお住まい。

●木製の室外機カバー（写真左）や玄関土間脇に置かれた木製ベンチ（写真上）など、生活の細部にまで気が配られています。
●T様こだわりのサンルーム（写真右端／右から2枚目）は、木製のウッドデッキをコーディネートすることで、住まい全体のナチュラルな雰囲気をぐっと引き立てています。晴れた日のひなたぼっこはもちろん、お庭に降る雨を眺めるのも、また一興かもしれませんね。

長崎県

4世代の日々を育む心に響く家

H様のお住まい

4世代2所帯が住まわれるH様のお住まいは、音響熟成木材と幻の漆喰の魅力が存分に活かされた癒しの家。明るい光が自然素材の質感と心地よく調和し、ご家族の暮らしを健やかに育んでくれそうな、心に響くお住まいです。

●光がたっぷりと差すリビング。音響熟成木材の親父柱がご家族の穏やかな日々を見守ってくれるようです（写真上）。●アンティーク調のステンドグラスが印象的なライトは自然素材の家にぴったり（写真上中）。

●音響熟成木材の見事な木組みを見上げていると、そのさわやかな香りとあいまって、本当に森の中にいるようです（写真上の段）。●音響熟成木材の手づくりキッチン（写真下）と、こちらも手づくりのダイニングテーブルセット（写真上）。●真新しい竹炭入り清活畳の優しい香りに、心もくつろぐ和室（写真上右）。これこそが、本来の「新築の香り」ですね。

空気がうまい家 全国体感録

音響熟成木材・幻の漆喰・清活畳を使用した、家族にやさしい「空気がうまい家」。全国に広がるその魅力をご紹介します。

旅する 空気がうまい家®

WEBで旅する空気がうまい家はこちらから

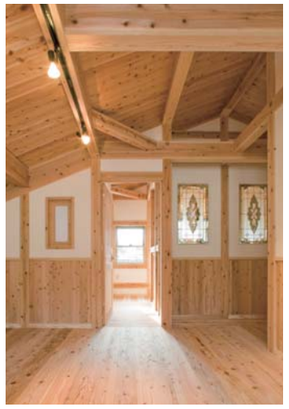
福岡県

自然素材がエレガントに香り立つ家

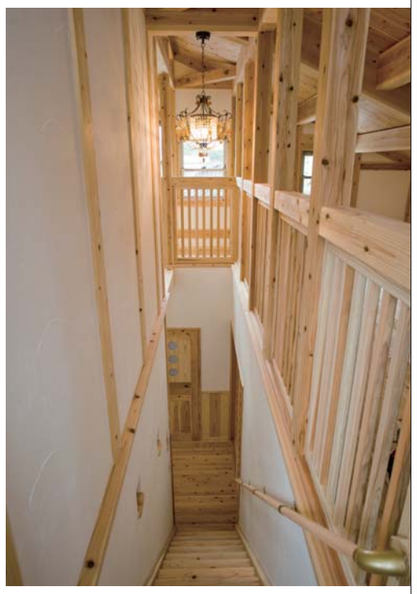
M様のお住まい

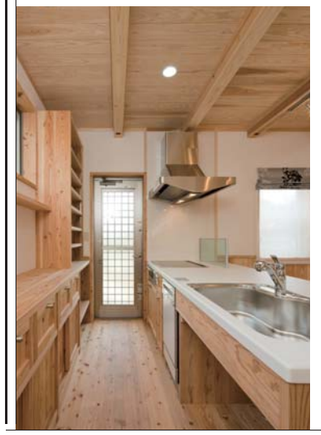
広めの軒先が日本の伝統家屋の趣きを感じさせながら、モダンな感覚による洗練も随所に見られるM様邸。黒を基調にした外観とは対照的に、その内部空間は音響熟成木材と幻の漆喰の自然な色味が映えています。

●吹き抜けの開放的な空間が広がるリビング・ダイニング（写真上）。●小粋な縁側や玄関まわりのしつらえなど、すみずみに気が配られています（写真下左から）。

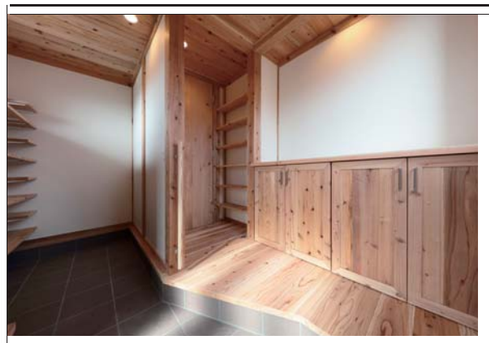


●ステンドグラスをあしらった窓が印象的（写真左）。●自然素材の癒しを堪能できそうな和の空間（写真上）。●コーナーのしつらえも丁寧な仕事です（写真上右）。





●アンティークなシャンデリアが音響熟成木材と幻の漆喰の空間にすてきに調和しています（写真上右）。●音響熟成木材の手づくりキッチンは、ダイニング面の収納もポイントです（写真上／左）。



群馬県

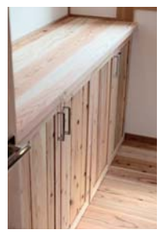
光と風もスタイリッシュな平屋の家

S様のお住まい

ルーバー付きのウッドデッキがデザインのポイントになっている、スタイリッシュな平屋のS様邸。音響熟成木材の美しい木目が印象的なその住空間は、作り手と住まい手の美意識が見事に融合しています。

●上がり口のアールがやさしい雰囲気を醸し出すエントランス（写真上）。●玄関脇には音響熟成木材と幻の漆喰で、においも気にならない収納スペースを完備（写真左）。●明るい陽射しがさんさんと降り注ぐ、リビングに面したウッドデッキ。窓を開けば、屋内と屋外がゆるやかにつながり、心地のいい開放感が心を満たしていきます（写真右）。

●広々とした窓の向こう、ウッドデッキに面した快適なリビング（写真左上）。●リビングのとなりの和室にもウッドデッキの光を採り込み、開放的な空間に（写真左）。●各居室も「空気がうまい」空間（写真上／右）。



●施主様のこだわりが感じられる照明や、音響熟成木材の質感と特性を活かした手づくりの収納、住まいのクオリティを品良く高める幻の漆喰のぬりかべの風合い、音響熟成木材「黒」の味をいかした和室の座卓など、住まいのすみずみにまで洗練された家づくりの技が感じられる住空間です（写真左から順に）。

SAiN 読者アンケート ぜひアンケートにお答えいただき、プレゼントご応募ください！

ご愛読いただきありがとうございます。これからも読者の皆様にますます喜んでいただける情報誌『SAiN』にしていくために、どうぞアンケートにご協力をお願いいたします。お名前・生年月日・性別・ご住所・TEL・職業・『SAiN』裏表紙に記載されている「正規取扱店名」をご記入の上、アンケートにお答えいただき、下記宛先までご応募ください。下のアンケート専用ハガキ・WEBでもご応募できます。

Q1 『SAiN』を知ったきっかけは？
①セミナー　②見学会・展示会　③DM　④友人・知人からの紹介　⑤その他

Q2 「健康住宅」のイメージは？

Q3 いちばん印象に残った記事は？（番号をご記入ください）
①表紙　②P1. SAiN51号みなさまに感謝／目次　③P2. 代表メッセージ　④P3・4.「無添加」というだけでは「健康住宅」と言えない？　⑤P5・6. カイケンブランド「幻の漆喰」シリーズ　⑥P7・8. ＜特別寄稿エッセイ＞渋谷様体験談　⑦P9・10. ＜住んでみて分かる＞花増様体験談　⑧P11・12. ＜母家＞T様体験談　⑨P13〜16. 全国体感録（　　県　　邸）　⑩P17.「変わらなければいけないもの 変えてはならないもの」　⑪P17. こだわりプレゼント　⑫P17. 編集ほのぼの後記　⑬裏表紙　⑭その他（　　）

Q4 役に立つと思われる記事はどれですか？（「Q3」の番号よりお選びください）

Q5 今後取り上げてほしいテーマ　**Q6 『SAiN』へのご意見・ご感想**

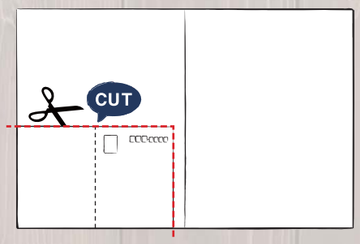
Q7 ご希望のプレゼント番号とプレゼント名（第1・第2希望まで）

ご応募締切 2017年2月18日 当日消印有効

●ハガキ応募先 〒814-0171 福岡市早良区野芥2-27-5
カイケンコーポレーション（株）「SAiN」冬号vol.51 プレゼント係
●WEB応募先アドレス https://s360.jp/form/31147-1005/
＊右のパーコードからもお申し込みフォームへアクセスできます☞
※当選者の皆様は次号（2017年春号 vol.52／2017年3月発刊予定）にて発表させて頂きます。

アンケート専用ハガキの使い方

1. ハガキにご記入いただいた後、切り取り線に合わせて、ハガキを切り取ります。



2. 切り取ったハガキを山折りにし、中面にのりをつけ、張り合わせます。

3. 記入漏れがないか確認いただき、郵便ポストへ投函ください。

キリトリ

（フリガナ）　生年月日　年　月　日
お名前　性別（男性・女性）
ご住所　〒
お電話
Eメール　メールマガジン配信 □希望 □希望しない
ご職業　会社員・公務員・自営業・学生・主婦・その他

『SAiN』を知ったきっかけは？（番号を○でお囲みください）
① セミナー　② 見学会・展示会　③ DM　④ 友人・知人からの紹介
⑤その他（　　）

「健康住宅」のイメージは？

いちばん印象に残った記事は？（番号を○でお囲みください）
①表紙　②P1. SAiN51号みなさまに感謝／目次　③P2. 代表メッセージ　④P3・4.「無添加」というだけでは「健康住宅」と言えない？　⑤P5・6. カイケンブランド「幻の漆喰」シリーズ　⑥P7・8. ＜特別寄稿エッセイ＞渋谷様体験談　⑦P9・10. ＜住んでみて分かる＞花増様体験談　⑧P11・12. ＜母家＞T様体験談　⑨P13〜16. 全国体感録（　　県　　邸）　⑩P17.「変わらなければいけないもの 変えてはならないもの」　⑪P17. こだわりプレゼント　⑫P17. 編集ほのぼの後記　⑬裏表紙　⑭その他（　　）

役立つと思われる記事は？☞上の質問の回答番号よりお選びください＜　　＞

今後取り上げてほしいテーマ

『SAiN』へのご意見・ご感想

ご希望プレゼント番号とプレゼント名をご記入ください　第1希望　第2希望

※アンケートにご協力ありがとうございました。プレゼント当選者は次号『SAiN』に掲載いたします。

山折り

料金受取人払郵便
城南局承認
2802
差出有効期間 平成28年4月1日から平成30年3月31日まで ＜切手不要＞

郵便はがき

814-0190

福岡市早良区野芥2-27-5
カイケンコーポレーション（株）

『SAiN』冬号vol.51 プレゼント係

ご愛読頂きましてありがとうございます。
アンケートにご記入頂きましてご応募ください。

この『SAiN』の裏表紙に記載されている正規取扱店名を下記にご記入ください☞

※お預かりした個人情報は、カイケンコーポレーション（株）と正規取扱工務店からのイベントや見学会のご案内、本やプレゼント発送、アンケート集計以外には利用いたしません。尚、お客様の個人情報は厳重に管理し、第三者に譲渡することはございません。

キリトリ

こだわりプレゼント ※ご応募締切 2017年2月18日（土）

1 音響熟成木材 手づくりテーブルセット

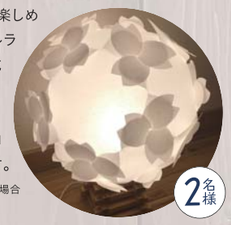
音響熟成木材手づくり家具の中でも人気が高い、テーブルと椅子のセット。音響熟成木材の木肌は使い込むほどなめらかになり、美しいツヤも出て、時とともに愛着が増していきます。当選者の方が決まってから製作しますので、寸法などはお好みでお選び頂けます。

※写真は参考商品です。

1名様

2 音響熟成木材と コハルライトのコラボライト

特製和紙シートを組み立てると、桜の花びらが立体的にうきあがる素敵なインテリア照明器具「コハルライト」。「さくら色」と電球色に切替でき、2つの違う雰囲気が楽しめます。このコハルライトと音響熟成木材の手づくりスタンドをセットにした特別コラボアイテムです。



※写真とは多少異なる場合があります。

2名様

3 オーガニックワイン リースリング ベーレンアウスレーゼ 白

特別な年にだけ作られる、オーストリア・クレムスタールのデザートワイン。淡くゴールドを帯びて輝くイエローの色。華やかで甘い気品が漂う、熟してとろけそうな果実の香り。そして、幸福な余韻を長く残す、上品で繊細な甘口の味わいがお楽しみいただけます。

3名様

4 ヴィーガンクッキー リリーバリー クッキー詰め合わせ

ヘルシーで体に負担をかけないお菓子が評判の福岡のヴィーガン・スイーツカフェ「リリーバリー」。白砂糖、卵、乳製品などを使わず、メープルシロップやオーガニック食材などのピュアでクリーンな素材を使った、奥深い味わいのクッキー詰め合わせです。

※写真とは多少異なる場合があります。

6名様

ご当選おめでとうございます！ 秋号（50号）プレゼント当選の皆様

①音響熟成木材手づくりテーブルセット
窪田 めぐ美 様

②音響熟成木材×コハルライト コラボライト
清瀧 高博 様　堀川 睦美 様

③オーガニックワイン
富岡 博幸 様　伊計 時子 様　生田 康彦 様

④ヴィーガンクッキー詰め合わせ
林 加奈子 様　林 菜々子 様　長尾 里視 様
木下 俊子 様　高橋 徹 様　中本 さつき 様

☞今号のプレゼントは左ページのアンケートにお答え頂きハガキ・WEBでご応募ください
＊WEBサイトプレゼントご応募アドレス☞ https://s360.jp/form/31147-1005/
＊右のパーコードからもお申し込みフォームへアクセスできます☞

編集ほのぼの後記

SAiN編集部 浦上日章

前回の50号より「Anniversary Year 記念号」スタートしてます！

読者の皆様からのご要望の中でダントツに多かったのが「5年、10年住んだ方の体験談を紹介して欲しい」でした。前号から今回に渡り10年以上お住まいのお客様をインタビュー。私も10数年ぶりの再会に懐かしさを覚えつつ、時の流れの速さをしみじみと感じました。
ただ、こうして改めてお客様をお訪ねすることで、原点に立ち返れるというか、新鮮な気持ちを思い出させていただけるというか、皆様の支えがあってこその「現在（いま）」なんだなぁと引き締まる思いになります。
詳しくは取材記事をぜひお読みくださいね！

「チロクロ日記」

寒くなってきたせいか、ゴロゴロぬくぬくとしていて運動不足！？なのか、最近二匹とも体が一回り大きくなったような気がします(^_^;) 布団の上で寝ていたり、ソファーの上で寝ていたり、天気の良い日は窓際で日向ぼっこしていたりと、気ままに自由な感じで過ごしています。猫を飼っていらっしゃる方はご存知だと思うのですが、猫ってダンボールが好きなんですね。爪がよく掛かって気持ちが良いのか、空気の層があって暖かいからなのか、そばに置くとすぐ中に入ってガシガシガシガシ♪ なんとも微笑ましいのですが、使い古されたダンボールはまるでホラー映画の爪痕の様に無残に引き裂かれてしまっています(Д;) そんなこんなな日々ですが、二匹も楽しんでくれているようで、嬉しい限りです！

SAiN 変わらなければいけないもの 変えてはならないもの

1999年創業、2004年に法人化、現在創業17年の私たちカイケンコーポレーション。この17年間で住宅業界は大きな変化を遂げ、新たな時代へと突入いたしました。煌びやかなデザイン重視だった当時の家づくりから、本物志向や健康、安全に対する世の中の意識が高まり、それに伴う消費者の皆様の思考の変化に対応するため、様々な企業が方針をシフト。「環境問題」や「健康問題」などに適した家づくりへと舵が切られていったのです。想像以上のスピードで確実に変わっていく時代の流れ。特に創業当時から健康を発信し、スポットを当ててきた私たちは、その動きをより多く目の当たりにしているかもしれません。

同じ健康な家づくりといっても、その時代に適応したアプローチの形は様々だと思います。家族構成やライフスタイル、家の広さに対する考え方から土地に関する考え方など、時代が変われればその見解もおのずと変わってゆくもの。その時代、その時の最前と最善をいかに目指していけるかが重要だと考えます。17年という時の流れ、企業であれば経営者の交代もありますし、現在家づくりを考え始めている世代の人たちは、当時は中学生や高校生。変化が起きていて当然なのです。だからこそ「変わらなければいけないもの」として私たちもその時代に対して柔軟な存在でいなければならないと思います。

そして「変えてはならないもの」。私たちにとっては企業理念がそれに当たります。健康や安全は人間にとっての永遠のテーマ。私たちは家づくりを通じて、いかにしてその環境を創造し、これから生まれてくる命にどれだけ未来を残していけるか、それを追及する軸は、創業当時から何も変わっていません。いくら時代が変わろうと、世代が変わろうと、健康でありたい、健康でいて欲しいと願う人々の心が変わらないからこそ、私たちも決してブレることはありません。

「我々は地球環境蘇生の商品開発と販売を通じて、多くの人々の安全と健康を守る企業を目指します」

私たちが毎朝唱和している社是の一節です。

50号到達でスタートしたSAiNのAnniversary Year。

改めてその重みを噛みしめます。

浦上 日章

「空気がうまい家」
KAIKEN CORPORATION
カイケンコーポレーション株式会社
◎お問い合わせはフリーダイヤルでお気軽に
0120-874-814
●本社／〒814-0171 福岡市早良区野芥2-27-5
●電話／092(874)6110 ●FAX／092(874)6113
◎最新情報はWEBサイトでどうぞ http://www.e-kaiken.com カイケンコーポレーション 検索
●「空気がうまい家」「音響熟成木材」「幻の漆喰」「清活畳」はカイケンコーポレーション株式会社の登録商標です。商標登録「音響熟成木材」登録第4739348号取得「幻の漆喰」登録第4739347号取得「清活畳」登録第4827042号取得●「音響熟成木材」「幻の漆喰」「清活畳」は正規取引店のみでお取扱いしております。類似品にご注意ください。お取扱い工務店等はWEBサイトでお確かめ頂けます。

SAIN 2016 WINTER ISSUE vol.51　発行●カイケンコーポレーション株式会社　〒八一四〇一七一福岡市早良区野芥二の二七の五　電話〇九二(八七四)六一一〇
©KAIKEN Co. All Rights Reserved.　【季刊】年4回・3月・6月・9月・12月発行　※無断転載・複製を禁じます

お問い合わせは●カイケンコーポレーション健康自然建材 正規取扱店